

IT技術利用による人工授精事務の省力化について

近年、様々な分野でコンピューターなどの情報機器を利用したいいわゆるIT技術の利用が盛んに進められています。この一つとして、畜産試験場では、県の工業技術センターと協力して、ICカードと携帯コンピューターを利用した家畜の交配管理システムの開発を行っています。

牛などの家畜人工授精業務においては、家畜改良増殖法により各種証明書の発行や各種管理簿の整備などを適切に行うことが義務づけられていますが、事務処理に多くの労力を割かねばならず、省力化が望まれています。

現在開発中のシステムは、ICカードという名刺大の記録メディアに保管器内の精液や受精卵の情報をあらかじめ記憶させておき、人工授精の際には携帯コンピューターにその情報をワンタッチで読み込ませて、出納状況や交配状況を自動的に集計・記録するとともに、必要に応じて各種管理簿や証明書を自動的に記入・発行させるなど煩雑な事務処理の省力化を図ることが可能で、特に現場での利用を考え、出来るだけ簡単な操作で利用できるシステムを目指しています。

今年度中に基本部分を作成し、来年度には試用試験を行う予定ですが、将来には育種価等のデータを利用した交配シミュレーションとの連携などについても検討して行く予定です。
(肉牛研究室 川田智弘)

非接触型ICカードを用いた家畜の交配管理システム概念図

